

東京データプラットフォーム協議会 第2回推進会議 事務局資料

令和3年8月10日

匿名投票ツール「Mentimeter（メンティミーター）」のご説明

本推進会議では、スマートフォン等を通し、皆様からの投票を実施

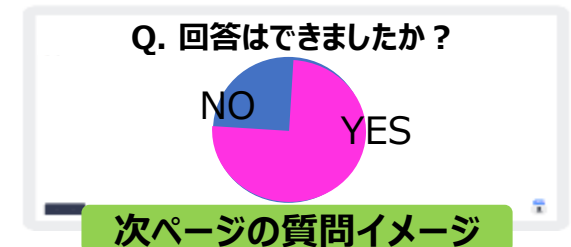
Mentimeter機能の特徴

容易な 参加方法

- お手持のスマートフォン等でQRコードを読み取るだけで、**ログイン不要で参加可能**
(スマートフォン・PC等でコードを入力することでも参加可能)

リアルタイム 回答表示

- お手持のデバイスで質問に回答すると、ブラウザ上に**リアルタイムで結果を反映**



匿名回答

- 皆様の回答は**完全匿名**（事務局も回答者は把握できません）

※会議中何度かご質問をいたしますので、回答画面は会議終了までそのままお願いいたします

【Mentimeter®】回答はできましたか？

お手元のスマートフォン等でQRコードを読み取り、ご回答ください
(※全て匿名)

Mentimeterによる回答は、会議で
ご案内したタイミングでのみ可能です



※または、下記URLへアクセスし
コードを入力してご参加ください

URL : <https://www.menti.com/kxwxc6ya7d>

コード : 2488 5455

A screenshot of the Mentimeter poll entry interface. At the top is the Mentimeter logo, which consists of a stylized bar chart with blue and red bars. Below the logo is the text 'Mentimeter' in a bold, black, sans-serif font. Underneath that is the instruction 'コードを入力してください' (Please enter the code). A white input field with a thin border contains the code '12345678'. Below the input field is a blue button with the white text '参加する' (Join). At the bottom of the screen, there is a small grey text note: 'コードは目の前の画面にあります' (The code is on the screen in front of you).

引き続きご質問がございますので、回答後の画面はそのままでお願いいたします

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第1回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・方針
4. 佐藤委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPF事業の推進状況
7. 越塚委員からの発表
8. 意見交換②
9. 閉会の挨拶

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第1回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・方針
4. 佐藤委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPF事業の推進状況
7. 越塚委員からの発表
8. 意見交換②
9. 閉会の挨拶

1. 開会の挨拶

東京都 副知事 宮坂 学

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第1回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・方針
4. 佐藤委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPF事業の推進状況
7. 越塚委員からの発表
8. 意見交換②
9. 閉会の挨拶

【振り返り】委員からいただいた主なご意見

主なご意見

対応方針

外部への 発信

- メディアでTDPFの取組を広く発信するとともに、YouTube・学生インターンの採用等、**若い人へ訴求**する試みも進めていくべき

- 協議会を核に他団体との連携等を通じて認知度向上を図りつつ、TDPFの基盤が整った段階で、メディアの露出や若者への訴求等の広報戦略を検討

コミュニティ 形成/関係 者との連携

- 中心となる人に依存しすぎないことが重要
- 複数の**コミュニティが連携**する組織作りをすべき
- 参画企業が現場レベルで情報共有が出来るコミュニティが必要

- サブWGの立上げ等、WGやケーススタディの活動が**自律的に進むよう環境整備**を推進
- 各コミュニティを繋ぐ役割を果たすことを意識し、協議会を運営
- **WG活動を中心にコミュニティを構築**し、ツールとして**Slack**も活用

運用ルール

- ユースケース等を通じて実際に現場と連携し、ニーズを吸い上げながら、**ルールやデータの収集・加工方法・機能・トラスト**等を検討すべき
- 今後は個人情報の同意の取り方・同意を取れるような仕組みづくりを検討していく必要がある

- WGやケーススタディ事業から得られた示唆、**ニーズ・課題等を踏まえながら、段階的に検討**を推進。なお、データの流通において、個人情報を含むデータを当初は扱わない方針

【振り返り】参加者からいただいたご意見

	主なご意見※	対応方針
TDPF事業の方針・取組内容	<ul style="list-style-type: none">■ 広域自治体と基礎自治体の役割分担や、保有データの違いなどの議論が必要	<ul style="list-style-type: none">■ ユースケースごとに要議論（WG、ケーススタディ等）
関連事業	<ul style="list-style-type: none">■ 個人情報の取り扱いについて法令、条例、政策に遵守すべきものもあるが、前進するための規制緩和も必要■ 有事の際の個人情報保護のあり方を抜本的に見直すべき■ デジタルツインに関連するデータの真偽、精度、編集履歴等のガイドラインを定める分科会を制定したらどうか	<ul style="list-style-type: none">■ WGやケーススタディ事業から得られた示唆、ニーズ・課題等を踏まえ、段階的に検討を進める■ まずはユースケースごとにニーズの確認が必要と想定
フォーカス分野／WG	<ul style="list-style-type: none">■ 自然災害/防災、「安全・安心な街づくり」のような観光・街づくり、AI開発、教育等の分野を希望	<ul style="list-style-type: none">■ フォーカス分野検討などを通じ、優先順位をつける
アイデアソン・オンラインセミナー	<ul style="list-style-type: none">■ 気象災害を想定した平常時の対策、危険予知時の対策、緊急時の対策、事後の復旧対策、津波、内水・外水氾濫などの防災関連分野を希望	<ul style="list-style-type: none">■ 防災データWGの取組を通じて官民のニーズ確認を進める。またユースケース創出のため、アイデアソンの実施も検討

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第1回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・方針
4. 佐藤委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPF事業の推進状況
7. 越塚委員からの発表
8. 意見交換②
9. 閉会の挨拶

令和2年度の取組・令和3年度以降のロードマップ

令和2年度

令和3年度

令和4年度 以降

事業推進PJ

利用者募集

ユースケース 創出

ポリシー 整備・運用

システム 基盤構築

データ整備

関連PJ

準備会

・事業範囲、WGの検討

WGの設置

・民間事業者等と議論

データ利活用実証プロジェクト

・TDPFの中核となる事業・ユースケースの検討

ポリシー案1.0策定

・TDPFのデータガバナンスに係る
ポリシー案1.0策定

3Dビジュアライゼーション

・3Dモデル検証

●デジタルサービス局新設 ●(国)デジタル庁設置

協議会

・事業内容、事業計画等の検討
・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

WGの設置

・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論

東京データプラットフォームケーススタディ事業

・データを利活用する民間事業者の掘り起こしを実施

ポリシー案の改訂

・継続検討・確定事項の反映

データ連携基盤構築事業の要件定義

・取り組むべき事業に合わせ、業務/システムの要件検討

行政データ整備モデル事業

・区市町村の行政データを整備、TDPFへ誘因

デジタルツイン実現プロジェクト

・都市のデジタルツイン実現に向けた検討を実施

TDPF 運営組織 設立

第1回合同WGの開催について

防災データWG・施設系データ集約WGを合同開催し、多くの方々のご参加

名称

第1回防災データワーキンググループ及び施設系データ集約ワーキンググループ合同会

日時

令和3年7月15日（木曜日）午後4時から午後5時30分まで
（新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、WEB上で実施）

概要

- ① TDPF協議会の概要及びWGの位置付け
- ② 防災データWG及び施設系データ集約WGのキックオフ
 - 概要・目的、課題認識、活動イメージ
 - 参加者との意見交換 等

参加者

- 民間企業(大企業・スタートアップ等)・自治体 等
 - 防災データWG : 157名
 - 施設系データ集約WG : 132名
- ※両WG参加者 : 121名

【防災データWG】概要

防災関連データの利活用を推進するWGを設立し、防災サービスの開発を後押し

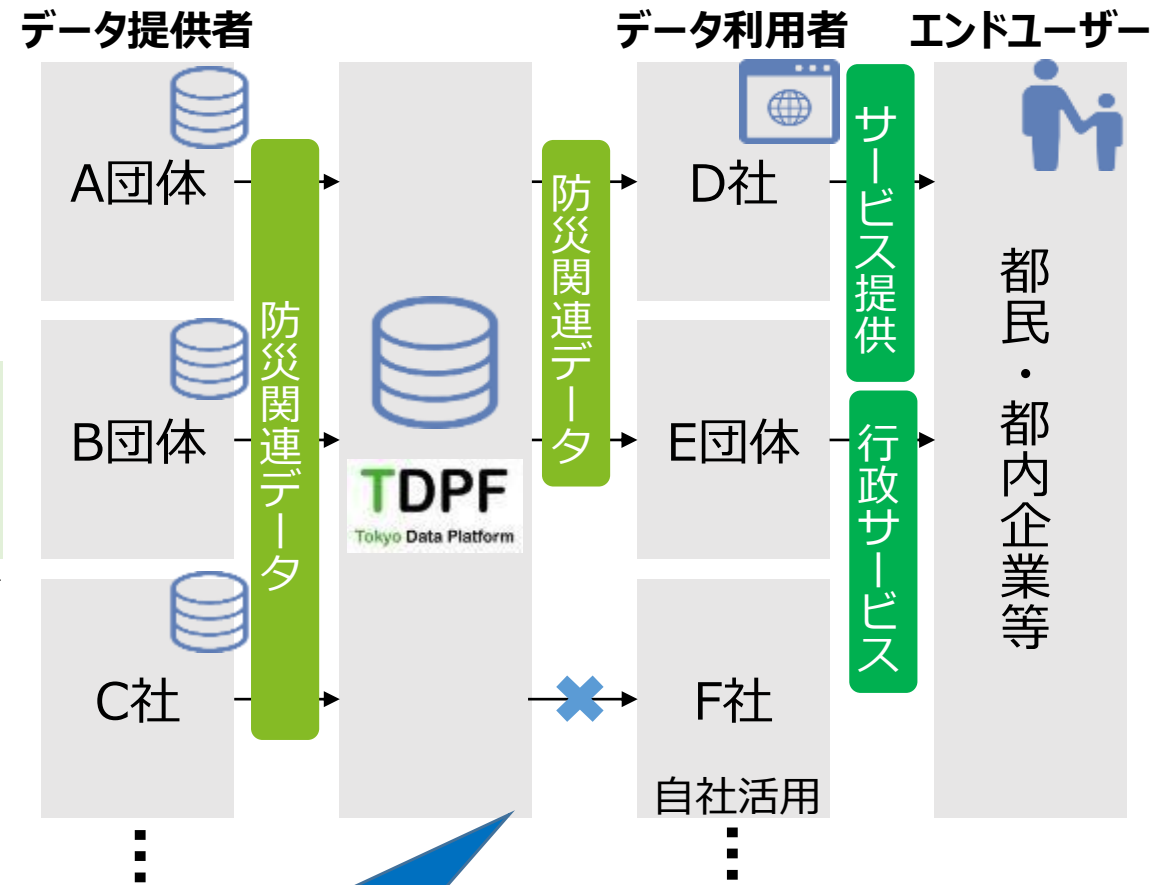
WGの取組概要

1. 防災に役立つデータの官民間での流通を拡大する
2. 防災サービスに必要な情報を洗い出し、それらの整備・連携方法を検討する

防災サービスの開発を後押しし、
都民・都内企業の防災対応力を向上

- 避難所や一時滞在施設等の関連情報の連携
- 断水や道路交通情報等を店舗運営・物資輸送等において参考情報として活用
- 発災時を想定したシミュレーションに各種ハザードマップを活用

活動イメージ（将来像）



今年度は、WGでデータ提供条件・フォーマット検討

TDPFの役割：
データ提供条件に応じて、
決められた範囲でデータを仲介

【防災データWG】意見交換概要

データ利活用に向けた条件整備等の課題やニーズについて意見交換を実施

課題認識・データ利活用ニーズ

- データフォーマット等や運用に関する課題
 - ・ 避難所開設情報等、防災に関わるデータのフォーマットや項目が不十分
 - ・ データを利活用するための枠組み・運用体制・ルールが存在せず。誰にどこまで、どのデータを提供するかという合意形成もできていない
- データ提供に関するニーズ
 - ・ 断水、道路の啓開や除雪のタイミングなどのリアルタイム情報
 - ・ 形の整えられた各種ハザードマップ

WGに期待すること

- WGの進め方
 - ・ 官民の参加者による本音ベースの議論、答えの導出
 - ・ ローカルガバメントを中心にした官民のデータ流通のベストスタディ・ベストケースの創出
- 実現してほしいこと
 - ・ 行政が保有する防災情報の2次利用可能な状態での提供・利活用の促進
 - ・ 発災時の人の手を介さないデータ収集方法の検討
 - ・ 多岐にわたるデータ群を自由に組み合わせるためのカタログの整理

【防災データWG】アンケート結果と今後の進め方

意見交換とアンケート結果を踏まえ、 今後データ利活用ニーズの紹介、提供可能データ等について説明予定

アンケート 抜粋

- 提供する側、利用する側双方の**共通ルール作り**が一番重要
- データ提供者・利用者双方の**インセンティブ設計**がポイント
- 防災目的ではないデータが、**防災データとして価値を有する**場合あり
- **ニーズとシーズをマッチングするディスカッション**等があれば、より良い課題解決の場になる

今後の 進め方 (予定)

- データ利活用ニーズの紹介、提供可能データ・利用条件等の説明
- 想定ユースケースの紹介
- ユースケース実装に向けた検討方針 等

【施設系データ集約WG】概要

官と民の施設・設備データを集約し、利活用を推進するWGを設立
まず西新宿エリア・トイレ施設を対象として、モデルケースづくりに取り組む

WGの取組概要

活動イメージ（将来像）

目的と検討事項

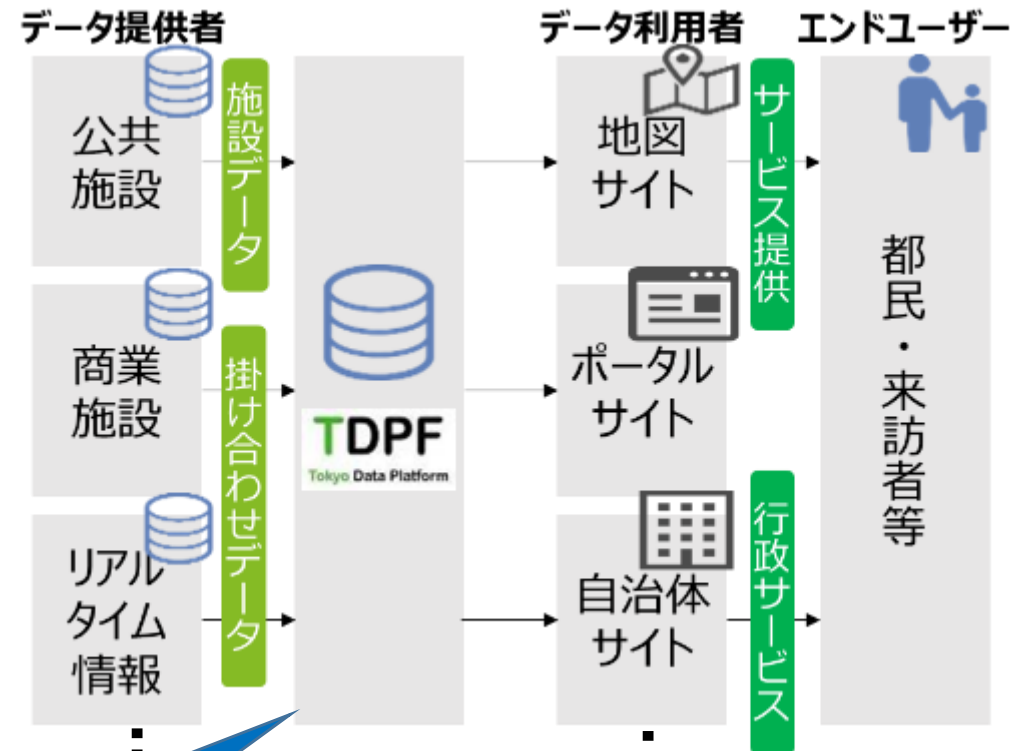
1. 官民に散在するデータの集約
2. 都民への伝達手段の多様化・付加価値向上
～地図・ポータルへの連携、混雑情報の活用等
3. データ更新のルール策定
～データ提供条件、フォーマット等

あらゆる都民や来訪者等が街で
快適に過ごせるサービス提供を後押し

対象エリア・データ

- 西新宿エリア・トイレ施設

対象エリアや施設を拡大



今年度はWGで、
データ提供条件・
フォーマット検討

TDPFの役割：
データ提供条件に応じて、データ利用者を制限
付加価値データの掛け合わせ

【施設系データ集約WG】意見交換概要

民間施設からのデータ収集に向けた課題など、意見交換を実施

データ(トイレ)のニーズ

- 西新宿エリアにおけるトイレ情報のニーズ
 - ・ 特にオフィスビルは、トイレが設置されていないフロアがあるなど、**場所が分かりにくい**

データ整備・利活用に向けた課題

- データ項目の定義
 - ・ **施設IDを事業者間で共有**できれば、満空情報などの動的情報とかけ合わせが可能
 - ・ 多機能トイレの機能分散の流れも考慮する
- データ提供の条件
 - ・ 民間施設側は、データが利用されている範囲（サービス）を把握したいという要望がある
 - ・ 継続的に提供してもらうには、**インセンティブ設計**も必要（ビジネス、社会的責任）

- 都民への伝達手段
 - ・ トイレ情報を地図サービスに掲載する場合に、**視認性と情報量のバランス**を考慮する必要がある

WGに期待すること

- トイレ情報集約の取組が持つ可能性
 - ・ 次年度以降の継続性
 - ・ 西新宿以外の商業エリアや、区市町村や全国への**取組拡大**を期待

【施設系データ集約WG】アンケート結果と今後の進め方

WG参加者のご意見も踏まえつつ、まずデータフォーマットから検討を進めていく

アンケート 抜粋

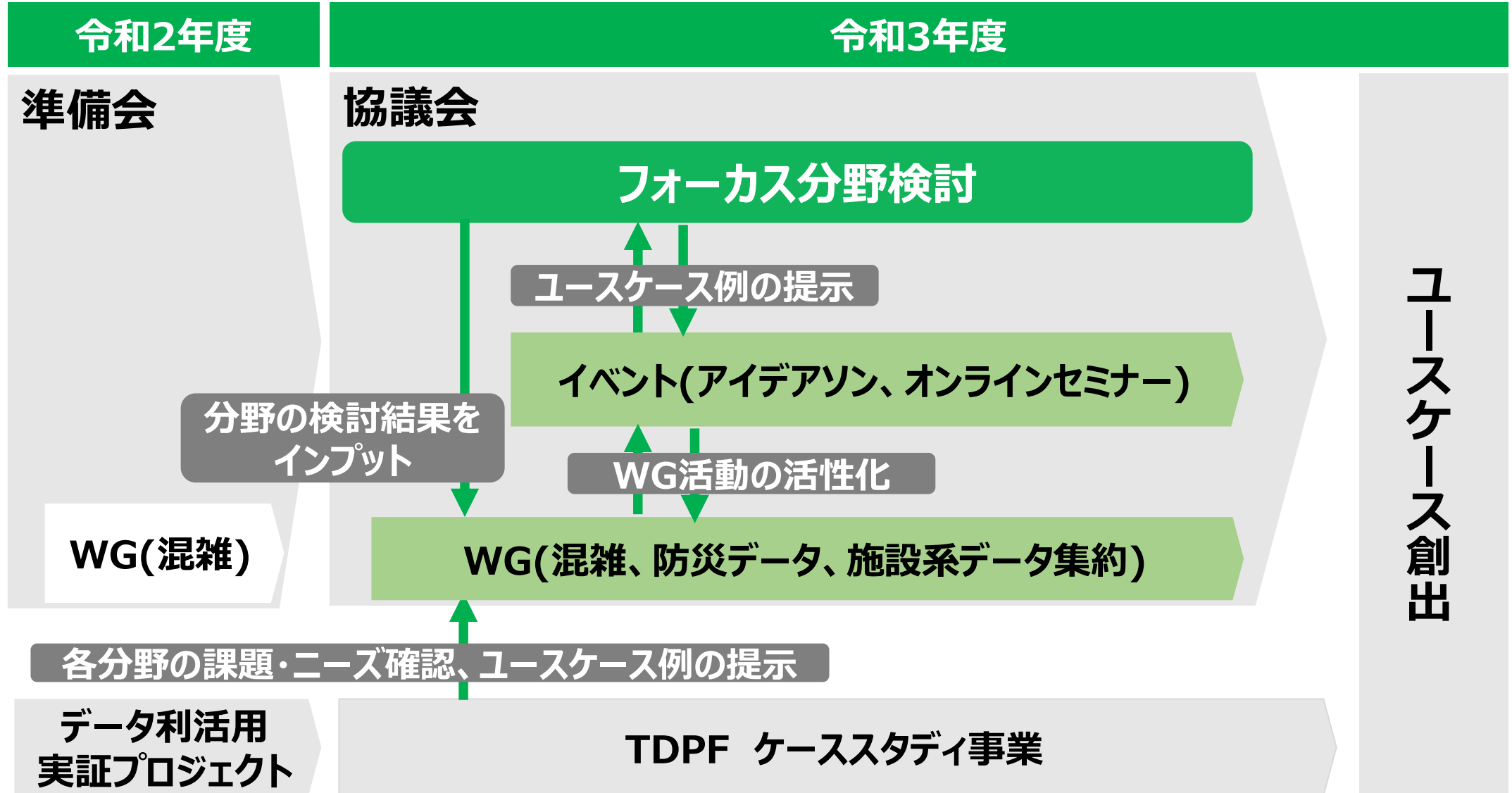
- データ提供や更新に関する**インセンティブとマネタイズ**を踏まえたサービス提供の実現が課題
- **施設を利用できない時間**などの情報整備も検討したらどうか
- トイレに付随する施設データ、トイレ以外で集めたい施設データについて
 - **おむつ替え、授乳室**
 - 化粧直しができる洗面台の数
 - ユニバーサルデザイン施設情報等

今後の 進め方 (予定)

- データを集約・提供する際のフォーマット案の提示
- 収集対象とする設備の決定
- サービス提供に向けた課題整理

ユースケース創出に向けた取組①フォーカス分野選定

ユースケース創出に向けた取組の一環として、TDPFがフォーカスすべき分野の検討を実施
WG活動やイベント等の取組と連動して、データを活用したサービスの創出を後押し



【フォーカス分野選定】検討分野のロングリスト^{凡例:}

分野

- テーマA
- テーマB ...

『「未来の東京」戦略』を参考に、以下の7分野から優先して検討すべき分野を選定

未来の東京戦略

働き方



- 就労支援
- テレワーク
- オンライン会議
- 多様な働き方
- リカレント教育 等

子育て・高齢者



- 子育て支援
- 保育サービス
- 高齢者の介護・見守り
- デジタルデバイド解消
- 健康づくり 等

防災



- 首都直下型地震対策
- 台風、豪雨対策
- 複合災害への備え
- 無電柱化、自助・共助
- ドローン活用 等

教育



- オンライン教育
- グローバル教育
- STEAM教育
- 学校施設の機能向上
- デジタル環境の整備 等

環境



- CO2抑制
- 大気汚染対策
- プラスチック対策
- 省エネルギー
- 再生可能エネルギー 等

まちづくり



- バリアフリー
- 空き家活用
- 老朽インフラ対策
- 混雑対策
- 道路空間の活用 等

産業



- 生産性向上
- 中小企業振興
- 商店街・地域産業振興
- 農林水産業
- 観光振興 等

都政のDX[※]



- 行政手続きオンライン化
- 5つのレス (ペーパーレス・はんこレス・FAXレス・キャッシュレス・タッチレス)
- 次世代型オフィス
- オープンデータ 等

※「都政のDX」は官民の連携が難しい分野であるため検討対象外



【フォーカス分野選定】選定に向けた観点

選定にあたっては、5つの観点を重視

- 1 東京都として重点的に取り組む必要があること（「未来の東京戦略」等を参照）
- 2 中央省庁や民間企業等の取組と他のデータプラットフォームとの棲分けが明確であること（特に民間のデータ利活用が進展していない分野）
- 3 基礎自治体単位ではなく、広域自治体である東京都が取り組む必要性があること
- 4 行政の介入なくして埋まらない需給ギャップ※が相対的に大きいこと
- 5 個人情報を含まないデータで、十分な価値提供ができること



【フォーカス分野選定】検討結果

検討の結果、「防災」と「まちづくり」を現時点のフォーカス分野とする

フォーカス分野	中央省庁や民間企業の取組と重複が生じないか	広域自治体として取組む必要があるか	構造的需給ギャップがあるか	統計情報やモノ・環境のデータで価値提供ができるか
防災 	「SIP4D」等存在するが、民間によるデータ利活用の余地はありと想定	広域連携による防災への対応が重要になると想定	官民間でのデータ利活用ニーズあり、連携の余地あり	災害関連情報等、個人情報を用いないデータの活用が可能
まちづくり 	NPO法人や企業等多様な事業主体との更なる連携が重要	基礎自治体による施設・設備・空間情報等の可視化は道半ば	施設・設備・空間情報等のデータは民間・自治体に散在し、一元化の余地あり	施設・設備・空間情報等、個人情報を用いないデータ活用が可能

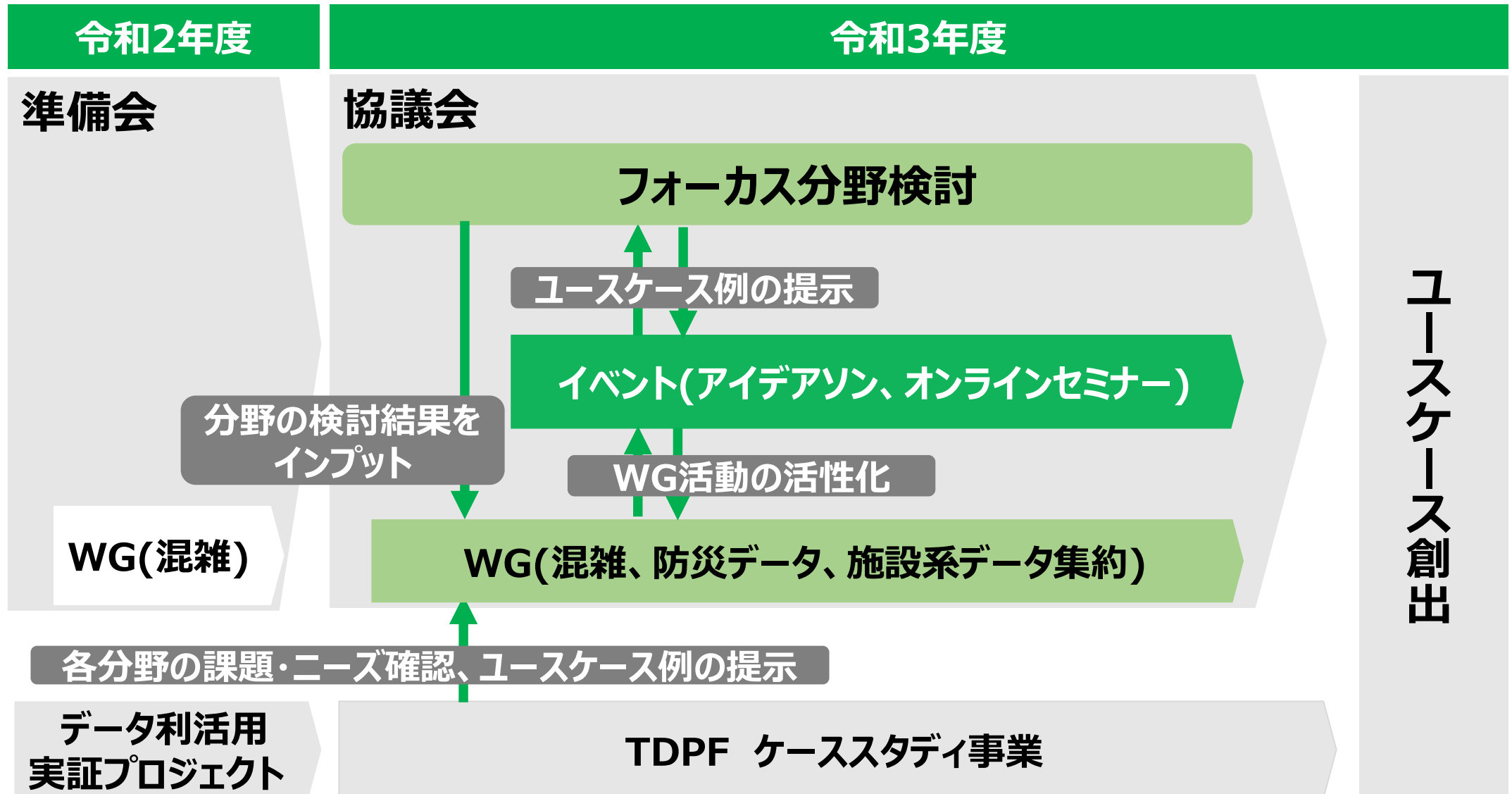
【フォーカス分野選定】今後の進め方

両分野については、WGやイベント等を通じて利活用事例の検討を進める

フォーカス分野	対応状況
防災 	<ul style="list-style-type: none">■ 防災データWGやアイデアソンにてユースケースの検討を推進
まちづくり 	<ul style="list-style-type: none">■ バリアフリーや混雑対策等の課題は、施設系データ集約WGや混雑WGにてユースケースを検討■ その他まちづくりに関わる課題についても、協議会やTDPF関連事業を通じて検討

ユースケース創出に向けた取組②イベント

フォーカス分野の選定やWG活動等を踏まえてイベントを計画中



【イベント】今後の進め方（案）

アイデアソン・オンラインセミナーを検討中

検討中の企画

イメージ

アイデアソン

- 防災データWG及び施設系データ集約WGで各1回実施
- WGで想定するユースケース検討と連動する形で実施
- WGメンバーにも企画段階からご参加いただく
- 各WG内で別途詳細案内予定

オンラインセミナー

- コミュニティ活性化の観点から、協議会参加者による自社の技術やサービスの発表の機会を提供
- 別途、応募フォームを案内予定

POINT

質より量・突飛さ歓迎・批判禁止※・他の人の意見に便乗!

複数企業間でチームを構成し、ディスカッションを実施



グループディスカッションの様子

グループで出たアイデアを机に貼って参加者が投票

有用なアイデアはユースケースとしてWGで検討!





実施内容は皆様の声を反映予定

※アイデアソンのアイデアを事業検討するにあたり、WGでの十分かつ慎重な議論を通じて判断予定

【コミュニティ】Slackの活用状況

Slackにて運用中の「東京データプラットフォーム協議会ワークスペース」を 情報共有、参加者間の交流、意見発信等の場として活用開始

ワークスペース詳細

参加人数	■ 119名（7月30日時点）	主な 投稿内容	<ul style="list-style-type: none">■ 事務連絡■ 情報共有■ 自己紹介等、参加者間の交流■ WG活動報告（予定） <p>（投稿イメージ）</p> <p> 株式会社AAA</p> <p>株式会社AAAです。当社では---を提供しております。---でお困りの方がいらっしゃいましたらお声がけください！</p> <p> 株式会社BBB</p> <p>8/30よりXXエリアで実証実験開始しました！ご興味のある方は以下リンクから見てみてください！</p>
参加者	<ul style="list-style-type: none">■ 協議会委員■ 推進会議・WG参加者■ 事務局（東京都・デロイト）		
チャンネル 一覧	<ul style="list-style-type: none">■ 協議会全体チャンネル■ 雑談チャンネル■ 各WGチャンネル<ul style="list-style-type: none">➢ 混雑WG➢ 防災データWG➢ 施設系データ集約WG <p>※サブWGチャンネルも開設予定</p>		

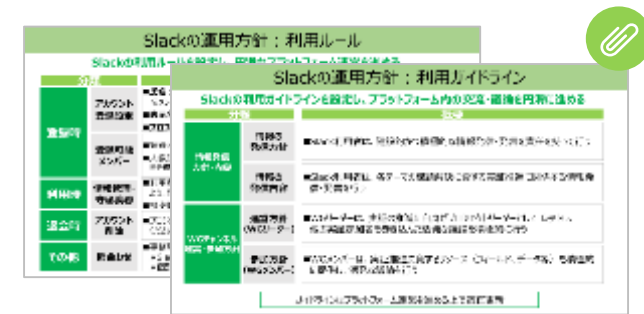
【コミュニティ】Slackの申し込み方法

アンケートフォーム内に登録者情報を記入し、申し込み可能
事務局メールでも随時受付中のため、是非積極的にご参加ください

※画像は全てイメージです

STEP①

- 開催後、事務局より送付するメールに添付の
利用ルール・ガイドラインを確認



STEP②

- アンケートフォーム内に、登録者情報を記入
- 以下のアドレスからも、随時申し込み可能
事務局アドレス：tokyo.dpf@tohmatu.co.jp

STEP③

- 後日、事務局より送付される、招待メールの
リンクからアカウントを作成し、利用開始



【Mentimeter①】イベントに何を期待しますか？

お手元のスマートフォン等でQRコードを読み取り、ご回答ください

Mentimeterによる回答は、会議でご案内したタイミングでのみ可能です

※全て匿名です)



※または、下記URLへアクセスし
コードを入力してご参加ください

URL : <https://www.menti.com/kxwxc6ya7d>

コード : 2488 5455

A screenshot of the Mentimeter web interface. At the top is the Mentimeter logo, which consists of a stylized bar chart with red, blue, and green bars, followed by the word "Mentimeter" in a bold, black, sans-serif font. Below the logo is the instruction "コードを入力してください" (Please enter the code). There is a white input field with a thin border containing the code "12345678". Below the input field is a blue button with the white text "参加する" (Join). At the bottom of the interface, there is a small grey text note: "コードは目の前の画面にあります" (The code is on the screen in front of you).

引き続きご質問がございますので、回答後の画面はそのままでお願いいたします

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第1回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・方針
4. 佐藤委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPF事業の推進状況
7. 越塚委員からの発表
8. 意見交換②
9. 閉会の挨拶

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第1回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・方針
4. 佐藤委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPF事業の推進状況
7. 越塚委員からの発表
8. 意見交換②
9. 閉会の挨拶

■ TDPF協議会の取組内容・方針について

- 協議会のユースケース創出に向けた取組状況について
(WG活動、フォーカス分野選定、イベントなど)
- スタートアップとのコミュニティづくりについて
- その他、本協議会を運営する上での留意点・助言

本日の次第

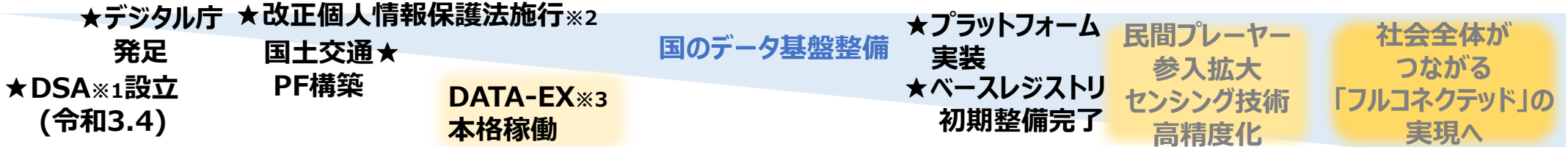
1. 開会の挨拶
2. 第1回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・方針
4. 佐藤委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPF事業の推進状況
7. 越塚委員からの発表
8. 意見交換②
9. 閉会の挨拶

TDPF事業計画策定に向けて① ロードマップ案

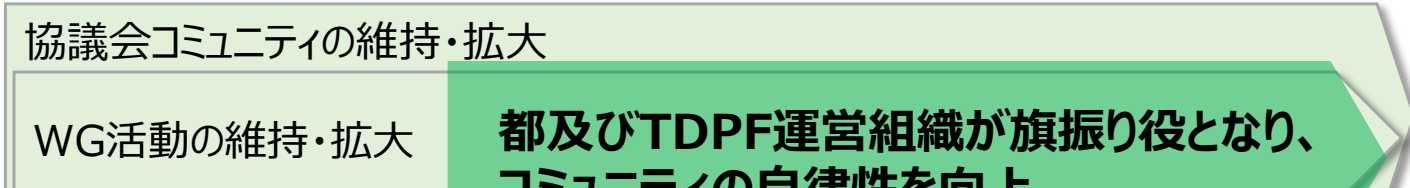
事業計画のベースとして、中長期のTDPFが目指す姿を検討中

	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年~令和12年(2030)に目指す姿
TDPF事業フェーズ	コミュニティ構築・TDPF基盤整備		コミュニティ発展 TDPF基盤・他PFの連携強化			コミュニティ・基盤の活用による 都民密着サービスの更なる拡大

国の動向
データ利活用をめぐる状況

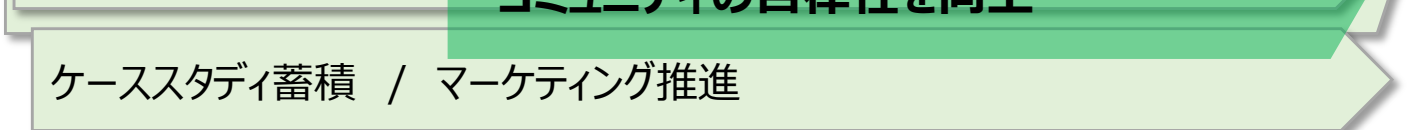


コミュニティ構築



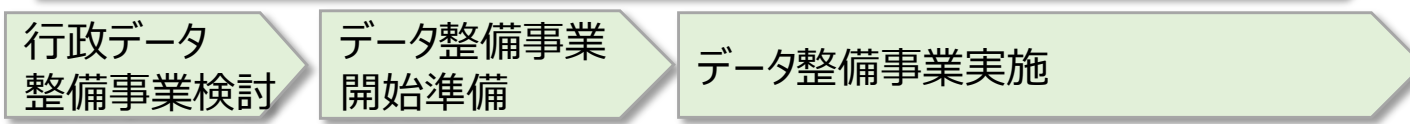
・多様な分野でコミュニティが存在し、自律的な課題解決の場に

ユースケース創出



・利活用事例の活発な創出、都は民間事業者のイノベーションを後押し

データ整備



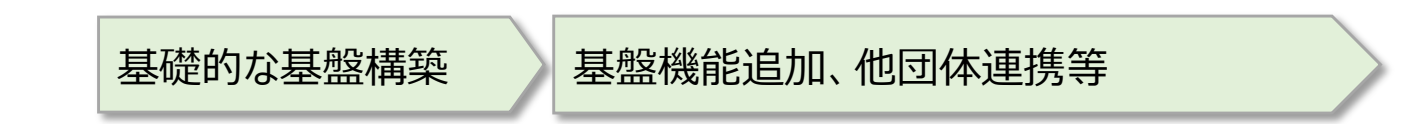
・官民の様々なデータの機械判読性向上、標準化実現

ポリシー



・データ提供者・利用者が、安心してデータ利活用可能に

基盤構築



・TDPF基盤上で、様々な官民のデータがワンストップで利用に

※1 団体名：一般社団法人データ社会推進協議会（英名：Data Society Alliance） ※2 令和3年改正、地方自治体の令和5年5月19日までの政令で定める日に施行 ※3 分野間データ連携プラットフォーム

TDPF事業計画策定に向けて② 検討イメージ

各事業の検討成果やユースケース事例等に基づき、計画の具体化を進めていく

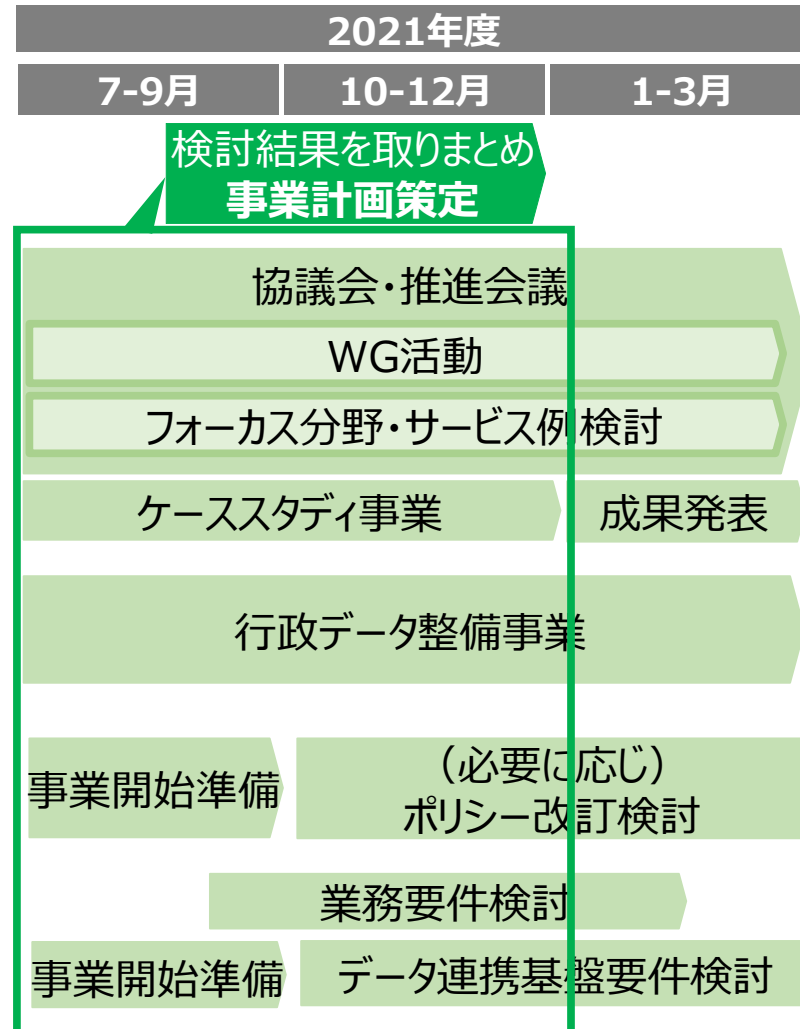
これまでの検討事項

事業概要

- 取組意義・ねらい
- 事業内容
 - ①データ流通推進、
 - ②データ整備
- ユースケース
- ビジネスモデル
 - 会費、利用料等
- 信頼性を高める上で必要な取組、ポリシー案1.0
…等

事業計画の具体化に向けた検討イメージ

検討項目	主な議論ポイント
コミュニティ構築	・会員制度（審査有無・項目） ・プロモーション 等
ユースケース創出	・自律的なユースケース創出を後押しする枠組み作り 等
データ整備	・事業成果を踏まえたデータ整備事業のあり方 等
ポリシー	・具体的なユースケースに基づくデータ取扱範囲 等
基盤構築	・具体的なユースケースに基づく必要要件 等



令和2年度の取組・令和3年度以降のロードマップ

令和2年度

令和3年度

令和4年度 以降

事業推進PJ

利用者募集

ユースケース 創出

ポリシー 整備・運用

システム 基盤構築

データ整備

関連PJ

準備会

・事業範囲、WGの検討

WGの設置

・民間事業者等と議論

データ利活用実証プロジェクト

・TDPFの中核となる事業・ユースケースの検討

ポリシー案1.0策定

・TDPFのデータガバナンスに係る
ポリシー案1.0策定

3Dビジュアライゼーション

・3Dモデル検証

令和3年度

●デジタルサービス局新設 ●(国)デジタル庁設置

協議会

・事業内容、事業計画等の検討
・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

WGの設置

・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論

東京データプラットフォームケーススタディ事業

・データを利活用する民間事業者の掘り起こしを実施

ポリシー案の改訂

・継続検討・確定事項の反映

データ連携基盤構築事業の要件定義

・取り組むべき事業に合わせ、業務/システムの要件検討

行政データ整備モデル事業

・区市町村の行政データを整備、TDPFへ誘因

デジタルツイン実現プロジェクト

・都市のデジタルツイン実現に向けた検討を実施

TDPF
運営組織
設立

【ケーススタディ事業】概要

データ利活用意欲の醸成と、ケーススタディの創出を目指し、
3つのカテゴリーからそれぞれプロジェクトを選定

① TDPFの継続利用に繋がるケーススタディ・プロジェクトを3件採択

カテゴリー	プロジェクト名
①混雑情報活用	都内飲食店における「混雑・予約データ」等の活用による自動集客化サービスへの取組
②庁内データ又はオープンデータ活用	行政データの積極的な活用による「地域プロファイリング」の創生
③民間データ活用	民間データを基軸にした「駅利用圏ポテンシャルマップ」の展開

② 得られたケーススタディを利活用事例として、積極的に広報

【ケーススタディ事業】採択事業①（混雑情報活用）

都内飲食店における「混雑・予約データ」等の活用による 自動集客化サービスへの取組

実施者

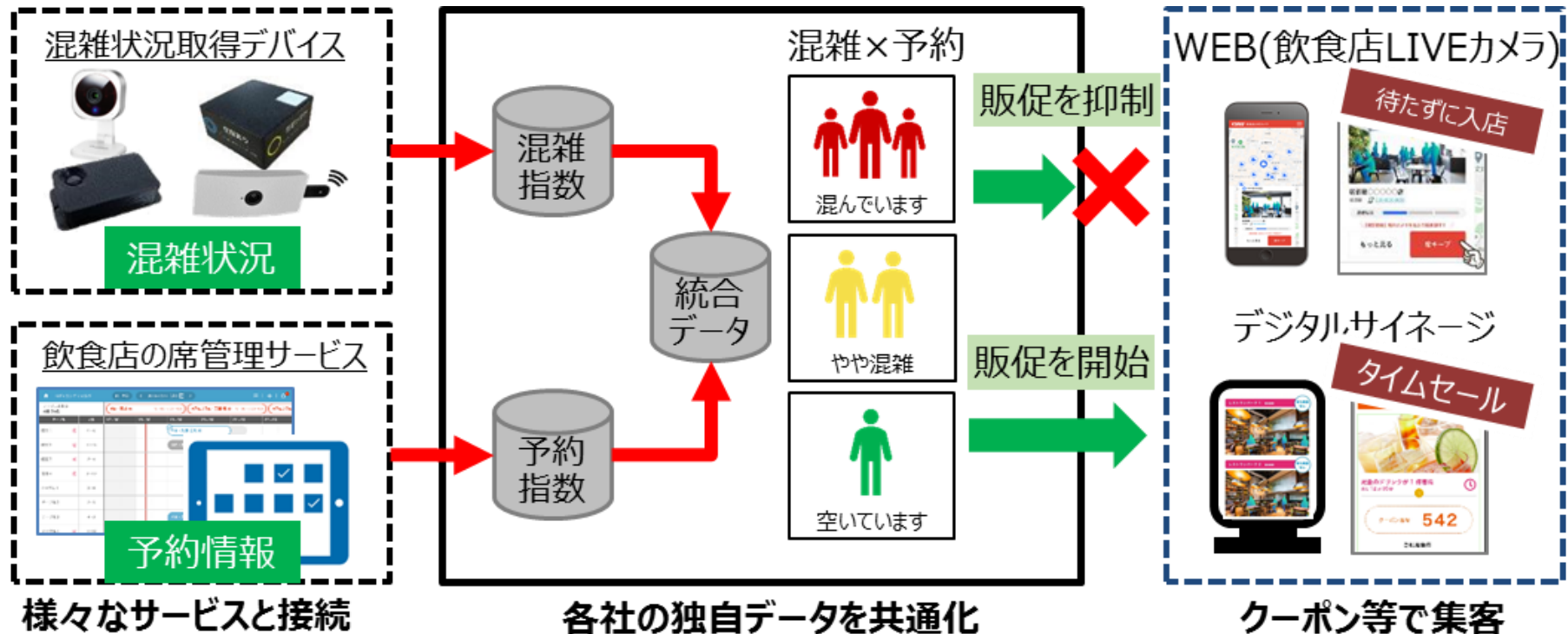
概要

使用データ

アウトプット

- 株式会社ぐるなび
- 混雑状況と予約情報と組み合わせて、飲食店舗における真の混雑状況を把握。その情報を活用した集客手法を確立し、3密回避と飲食店の収益確保に貢献
- 混雑情報（カメラやセンサーなどのデータ）、飲食店の予約情報

想定する事業化モデル



ケーススタディ事業 採択事業②（庁内データ又はオープンデータ活用）

行政データの積極的な活用による「地域プロファイリング」の創生

実施者

■ 東京大学エコノミックコンサルティング株式会社（UTEcon）

概要

■ 様々な土地/不動産に関わるデータに、経済学的知見を組み合わせることで、企業の事業拠点選定に必要な情報等を提供。さらに将来予測モデルも構築

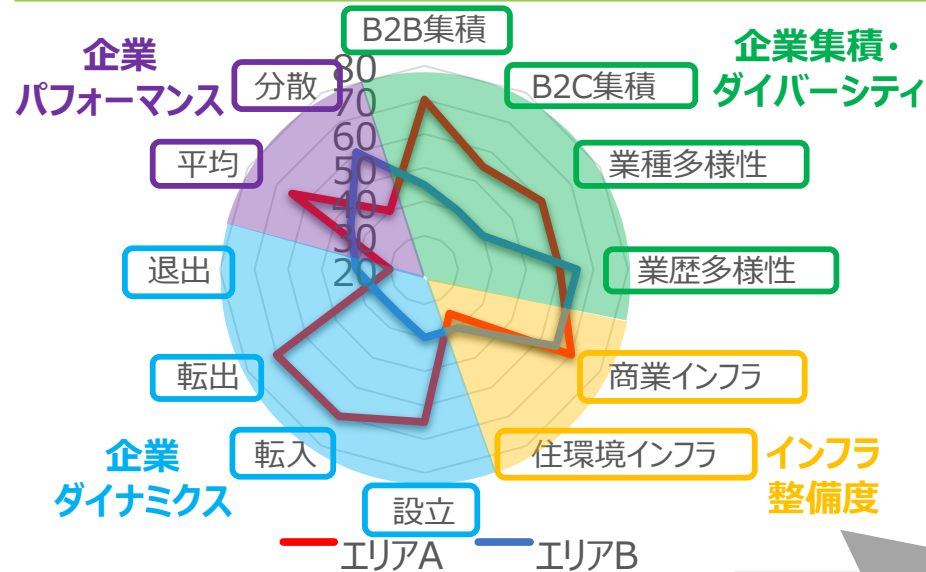
アウトプット

行政・民間データを活用

各地域をプロファイリングし、予測モデルを構築

将来的な発展

- 地図
- インフラ情報
- 土地価格
- 企業情報
- ⋮



より多くの行政データ及び民間データとの連携

東京DPFにおけるオープンデータ化の検討

事業化の検討

⋮

使用データ

《使用を検討している庁内データ又はオープンデータ例》

- ・ 東京の土地2019
- ・ ぐらしと統計2020 等（東京都オープンデータカタログサイトより）

(数値はイメージ)	エリアA	エリアB
ビジネス環境指数	80	60

【ケーススタディ事業】採択事業③（民間データ活用）

民間データを基軸にした「駅利用圏ポテンシャルマップ」の展開

実施者

■ パシフィックコンサルタンツ株式会社

概要

■ 生活者の視点で駅を起点とするエリアに着目し、年齢別の人の動きに関するデータを中心に分析、出店計画などビジネスジャッジに活用できるよう、住民・来街者の駅利用圏の実態を可視化

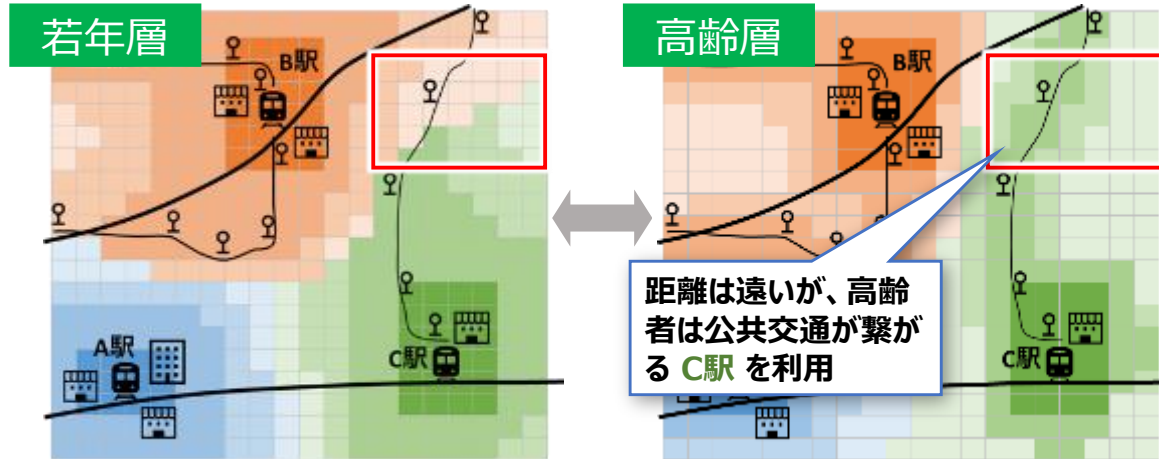
使用データ

■ 人流データ、土地・建物情報（防災マップ、施設位置情報）

アウトプット

世代別に比較

活用例



- 都民 引っ越し先の選択
- 企業 出店エリアの検討
- 行政 行政区画ではなく、生活者視点での利便性確認

様々なデータとの掛け合わせによる発展性

駅利用圏ポテンシャルマップ

- × 防災 帰宅困難者への対策の検討
- × 公共サービス 公共施設配置の検討
- × 安心・安全 優先対策箇所の把握・対策
- × 持続可能 利用者実態を反映した施設の運営方針の検討

【ケーススタディ事業】イベント

8月2日に採択プロジェクト内容を広く紹介するイベントを実施
併せて、各プロジェクトに対する追加協力事業者を募集中

プロジェクト紹介イベント結果

- **日時**
8月2日（月）午後4時～5時
- **主な内容**
 - 採択プロジェクト紹介
 - 講演（武蔵大学 庄司昌彦教授）
 - 協力事業者の募集案内
- **参加者**
58社・102名
- **主なコメント・反応**
 - 自社事業との親和性が高い
 - オープンデータ活用のビジネスモデルに興味がある
 - 既に複数社から協力の打診あり

協力事業者の協力パターン

協力パターン1： データ提供

協力事業者が保有するデータを各プロジェクトへ掛け合わせることで、更に価値の向上が見込めるデータの提供

プロジェクト①
株式会社ぐるなび

プロジェクト②
東京大学エコノミック
コンサルティング株式会社

プロジェクト③
パシフィックコンサル
株式会社

協力パターン2： 効果検証

各プロジェクトのアウトプット活用についてのヒアリング等、効果検証への協力

8月13日（金）までに事務局へご連絡ください

smart.tokyo@accenture.com（ケーススタディ事務局） 39

【Mentimeter②】ケーススタディに注目している点は何ですか期待すること

お手元のスマートフォン等でQRコードを読み取り、ご回答ください

Mentimeterによる回答は、会議でご案内したタイミングでのみ可能です

※全て匿名です)



※または、下記URLへアクセスし
コードを入力してご参加ください

URL : <https://www.menti.com/kxwxc6ya7d>

コード : 2488 5455



コードを入力してください

12345678

参加する

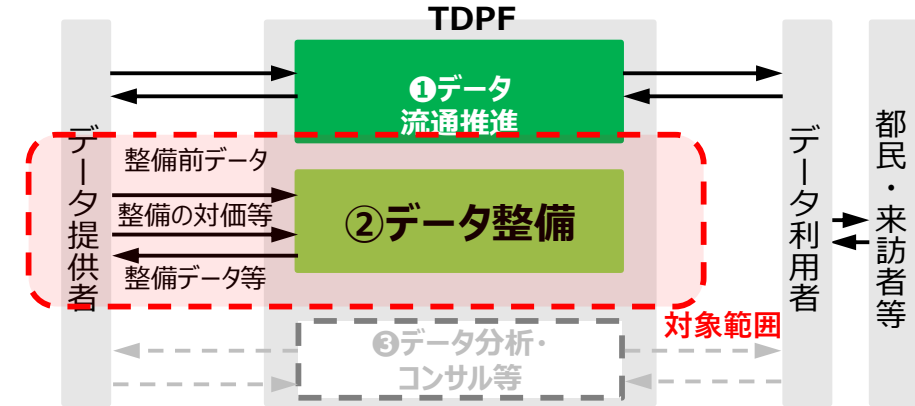
コードは目の前の画面にあります

【行政データ整備モデル事業】概要

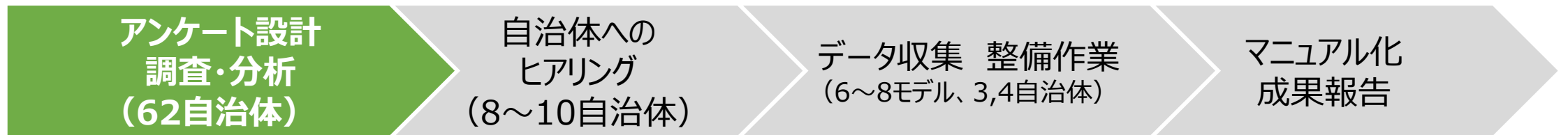
整備対象とする行政データの候補を、アンケートを通して選定

事業目的

- 自治体のデータ保有に関する課題認識や、データの質向上
- 機械判読可能な形式へのデータ整備手法をモデル化し、TDPFを通じた区市町村のデータ利活用を促進



進捗



6月4日～25日に都内の**全62自治体にアンケートを実施**。行政データへの取り組み状況を調査・分析

データ候補

推奨データセットや民間企業・有識者からのヒアリングから、下記のデータ候補をアンケートで確認

地域・年齢別人口

介護サービス事業所の
一覧

医療機関の一覧

食品等
営業許可・届出一覧

イベントや工事に伴う
交通規制

行政情報公開請求の
処理状況
(統計処理したデータ)

バリアフリートイレ情報

ハザードマップ

【行政データ整備モデル事業】アンケート結果

公開済み・公開予定の多いデータ（下図点線）を中心に10自治体程度へヒアリング予定

「公開済み」又は「公開予定」のデータセットのデータ形式

0 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50

回答結果

地域・年齢別の人口 (N=48)

介護サービス事業所の一覧 (N=28)

医療機関の一覧 (N=30)

食品等営業許可・届出一覧 (N=5)

イベントや工事に伴う交通規制 (N=4)

行政情報公開請求の処理状況 (N=10)

バリアフリートイレ情報 (N=18)

ハザードマップ (N=25)

■ 構造化データ形式〔XML、RDF等〕

■ 特定ソフトで編集・利用可能な形式〔MSファイル等〕

■ 形式は定められていない

■ オープンに編集・利用可能な共通形式〔CSV等〕

■ 編集不可の形式〔画像・PDF、表示のみ等〕

■ 分からない／把握していない

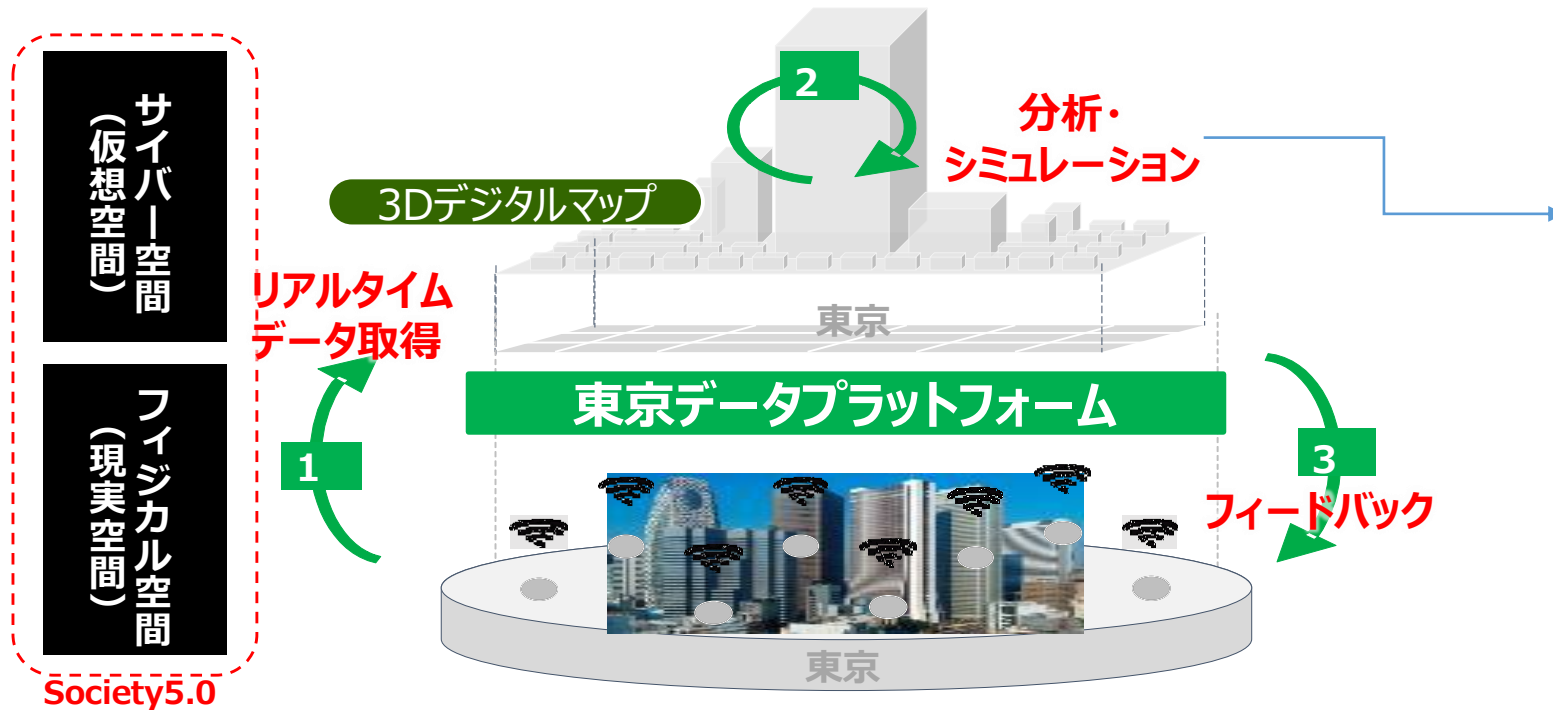
選択肢

※複数回答、また空欄回答有のため N数とグラフ合計が一致しない場合があります

【デジタルツイン実現プロジェクト】全体概要

フィジカル空間をサイバー空間に再現し、「双子（ツイン）」を構築・活用する事業

都市のデジタルツイン概念図



ユースケース



令和3年度実施事項

- ① 地下空間も含めたリアルタイム人流可視化
- ② 地下埋設物の3D化による業務改善効果検証
- ③ 携帯電話を活用したデジタルマップ更新検証

専用WEBサイト構築

ロードマップの策定

東京都における都市のデジタルツイン
社会実装に向けた検討会

【デジタルツイン実現プロジェクト】サイト説明（情報発信コンテンツ）

わかりやすさを重視した紹介コンテンツ



IoTセンサー設備や5Gの進展により、様々なデータをリアルタイムに収集

3D空間を活かした分析・シミュレーション
これまでの平面的地図上だけでなく、3次元空間の中で、従来は重ね合わせる事が難しかったデータを可視化、AIによって高度な分析・シミュレーションが可能

現実へのフィードバック
その結果をAR/VRやロボットなどの各種デバイスへ、リアルタイムにフィードバック

様々な技術を最大限に活用することにより、都民のQoS（Quality of Service）をアップグレードし、都民の生活の質を向上を目指します。

活用分野
防災・まちづくり・モビリティ・エネルギー・自然・ウェルネス・教育・働き方・産業といったさまざまな分野での活用が期待されます。

社会実装に向けた実証

2021年度中に、都内エリアの3D都市モデルや各種地理空間データを活用した、デジタルツインの実現に資する3つの実証を行います。

実証 01
地下空間も含めたリアルタイム人流可視化

実証 02
地下埋設物の3D化による業務効率効果検証

実証 03
スマートフォンを活用した3Dマップ更新検証

3Dモデルでみる東京

建物や街の様子を再現する3D都市モデル。様々なデータを重ね合わせることで、これまでと違う角度から東京をみるすることができます。

[3Dビューアをみる](#)

【推奨環境】

- OS
- 2017年以降に開発された標準的なラップトップPC、デスクトップPC
- 2018年以降に開発されたモバイルデバイス
- Windows、Mac OS、Linux
- GPUは最低限の要件、2015年以降に開発されたものは推奨
- 最小システム要件：
CPU: 2 GHz、デュアルコア、システムメモリ (RAM): 4GB
- ブラウザ
- 最新のChrome, Firefox, Edge, Safari

3D都市モデルに、都バスや河川のリアルタイムな情報など、様々なデータを重ね合わせてみる

[詳しくみる](#)

【デジタルツイン実現プロジェクト】サイト説明（3Dビューア）

属性情報を持つ3D都市モデルに、各種データ等を重ね合わせ

東京都 デジタルツイン 実現プロジェクト

場所を検索

データを地図上で見る

データセット (3) すべて削除 全て折りたたむ

震災時火災における避難場所

データ視点移動 データについて

凡例

東京都防災マップ 避難所・避難施設

データ視点移動 データについて

凡例

新宿区 (低解像度)

データ視点移動 データについて

なし

属性情報

新宿区 (低解像度) - 地点の情報

建物ID	13104-bldg-8158
名称	東京都庁第一本庁舎
住所	東京都新宿区西新宿二丁目
計測高さ	262
図形面積	4253.20825
用途地域	商業地域
防火及び準防火地域	防火地域
L001立ち上げに使用する高さ	点群から取得_中央値

新宿区 (低解像度) - 地点の情報

Lat / Lon 35.69029°N, 139.69260°E

2 データセットが地図上で有効

Webブラウザで閲覧可

https://tokyo-digitaltwin.metro.tokyo.lg.jp

CESIUM ion Data attribution Disclaimer Basemap

緯度 35.69063° N 経度 139.69260° E 標高 39m

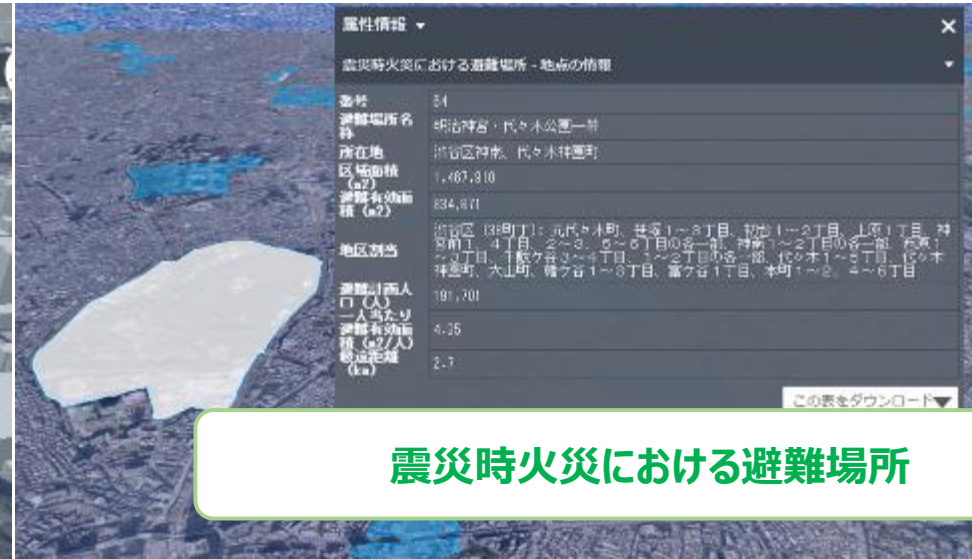
【デジタルツイン実現プロジェクト】3Dビューアのデータ可視化（例）

データの掛け合わせにより、新たな価値創出や業務改善に活用

都営バスロケーション
(リアルタイム)



震災時火災における避難場所



河川監視カメラ
リアルタイム配信



東京都防災マップ 避難所



全体スケジュール（案）

令和3年度		～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
推進会議		第1回	第2回	第3回	第4回	
WG	混雑WG	第1回	第2回	第3回	第4回	
	防災データWG	WG設立・準備	第1回	第2回	第3回	第4回
	施設系データ集約WG	準備	第1回	第2回	第3回	第4回
イベント	アイデアソン			アイデアソン（WG活動スケジュールにあわせ設定）		
	セミナー			オンラインセミナー		
関連事業	ケーススタディ	事業者の募集・選定	3PJ報告会・企業募集	中間報告 実証	最終報告 発表会	
	ポリシー策定			必要に応じ改訂案策定	ポリシー策定委員会 改訂案完成	
	デジタルツイン	各種意見聴取		実証	実証結果報告	
	データ整備事業	アンケート・結果分析	ヒアリング	データ収集・変換・検証	マニュアル作成	公表

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第1回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・方針
4. 佐藤委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPF事業の推進状況
7. 越塚委員からの発表
8. 意見交換②
9. 閉会の挨拶

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第1回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・方針
4. 佐藤委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPF事業の推進状況
7. 越塚委員からの発表
8. 意見交換②
9. 閉会の挨拶

■ 今後の事業計画検討に必要な観点、
国や他団体の取組を踏まえ、TDPFが果たすべき
役割や期待

■ 関連事業についてのご意見

- 東京データプラットフォーム ケーススタディ事業
- 行政データ整備モデル事業
- デジタルツイン実現プロジェクト など

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第1回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・方針
4. 佐藤委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPF事業の推進状況
7. 越塚委員からの発表
8. 意見交換②
9. 閉会の挨拶

9. 閉会の挨拶

東京都 デジタルサービス局長 寺崎 久明

今後の予定について

- **第3回推進会議** : 令和3年10-12月中を予定
- **第2回WG**
 - **混雑WG** : 令和3年8-9月中を予定
 - **防災データ/施設系データ集約WG** : 令和3年9-10月中を予定
- **第2回 東京都における「都市のデジタルツイン」社会実装に向けた検討会** : 令和3年8月19日開催

- **本会議終了後、アンケートを送付します。ご協力お願いいたします。
【今後のTDPF事業の参考とさせていただきます】**
- **本協議会のSlackグループにご参加いただける方は、アンケート内にアカウント作成に必要なメールアドレスをご記入ください。皆様のご参加お待ちしております。**

今後の
予定

事務
連絡